

# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 5 0 8 5

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2001. 3. 1	
製品の特定	製品名： 省エネシールド#1S A液 白色				
	<u>製品説明</u>				
	種類： シリコン変性アクリルウレタン樹脂塗料				
	主な用途： 遮熱塗料主剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
-----					
-----					
-----					
合計			100		
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体 (消防法、危険物第四類第二石油類、非水溶性)				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。吸入すると頭痛、めまいを起こす。 ☆溶剤の蒸気は、目、鼻、喉、皮膚などを刺戟し、炎症を起こすことがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないように注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。				

	使用可能な 消火剤	水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕 その他〔 〕
火災時の処置	<u>消火方法</u> ☆水を消火に用いてはならない。 ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。	
漏出時の処置	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。	
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、設置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。 ☆工具は火花防止型のものを用いる。 ☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ☆使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に着けておく。	
	<u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気、熱源から遠ざけて保管する。	
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆取り扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、くみ取り、攪拌等の設置についてはアースを取るようにする。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設置すること。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。 ☆状況に応じて、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護耐油性手袋、長袖帯電防止用保護衣、帯電防止靴着用のこと。	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 白色                                  臭気 : 溶剤臭・アクリル樹脂臭			
	沸 点 : 151~196℃                      蒸気密度 : 3~4 密 度 : 1.04                              P H 値 : - その他 : -				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 42.2℃                      発 火 点 : 240℃ 爆発限界 : (下限) 0.6%              (上限) 7.5%			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 通常の取扱い条件において安定である。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO, CO <sub>2</sub> , ガス、ススなど			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 溶剤の蒸気は空気より重く低所に滞留し、爆発性混合ガスを作りやすい。					
有 害 性 情 報	<u>組成物質の有害性及び暴露濃度基準</u>				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	.....	.....	.....	.....	.....
	.....	.....	.....	.....	.....
	.....	.....	.....	.....	.....
	.....	.....	.....	.....	.....
	.....	.....	.....	.....	.....
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 溶剤 LAWS 高沸点脂肪族炭化水素 CAS No. 64742-81-1 ソルベツ100 高沸点芳香族炭化水素 CAS No. 64742-95-6					
<u>製品に関する有害情報</u> 溶剤 LAWS 許容濃度未設定 ソルベツ100					
環境影響情報	☆漏洩時、排気などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。  ☆排水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。  陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理する。  海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  航空輸送 : 航空法の定めに従う。  国連番号 : 1866</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤）  消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ  船舶安全法 : 中引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u>  ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」  「MSDSガイドブック」  ☆溶剤ポケットブック  ☆危険物防災救急便覧  ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意]  危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。  記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	

# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 5 0 8 6

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2001. 3. 1	
製品の特定	製品名： 省エネシールド#1S B液				
	<u>製品説明</u>				
	種類： ポリイソシアネートポリマー溶液				
	主な用途： 省エネシールド#1S 硬化剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
-----					
-----					
-----					
合計			100		
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体 (消防法、危険物第四類第二石油類、非水溶性)				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。吸入すると頭痛、めまいを起こす。 ☆溶剤の蒸気は、目、鼻、喉、皮膚などを刺戟し、炎症を起こすことがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないように注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。				

	使用可能な 消火剤	水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕 その他〔 〕
火災時の処置	<u>消火方法</u> ☆水を消火に用いてはならない。 ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。	
漏出時の処置	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。	
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、設置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。 ☆工具は火花防止型のものを用いる。 ☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ☆使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に着けておく。	
	<u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気、熱源から遠ざけて保管する。	
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆取り扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、くみ取り、攪拌等の設置についてはアースを取るようにする。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設置すること。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。 ☆状況に応じて、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護耐油性手袋、長袖帯電防止用保護衣、帯電防止靴着用のこと。	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 淡黄色                              臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 151~196℃                      蒸気密度 : 3~4 密 度 : 1.00                              P H 値 : - その他 : -				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 42.2℃                      発 火 点 : 240℃ 爆発限界 : (下限) 0.6%                      (上限) 7.5%			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 通常の取扱い条件において安定である。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO, CO <sub>2</sub> , NO, NO <sub>2</sub> ガス、ススなど			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 溶剤の蒸気は空気より重く低所に滞留し、爆発性混合ガスを作りやすい。					
有 害 性 情 報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	-----				
	-----				
	-----				
	-----				
	-----				
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 溶剤 LAWS 高沸点脂肪族炭化水素 CAS No. 64742-81-1 ソルベツ100 高沸点芳香族炭化水素 CAS No. 64742-95-6					
<u>製品に関する有害情報</u> 溶剤 LAWS 許容濃度未設定 ソルベツ100					
環境影響情報	☆漏洩時、排気などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。  ☆排水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。  陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理する。  海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  航空輸送 : 航空法の定めに従う。</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤）  消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ  船舶安全法 : 中引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u>  ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」  「MSDSガイドブック」  ☆溶剤ポケットブック  ☆危険物防災救急便覧  ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意]  危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。  記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	



# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 5 0 8 7

製造者情報	会社名	株式会社トータサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2001. 3. 1	
製品の特定	製品名： 省エネシールド#1S シンナー				
	<u>製品説明</u>				
	種類： 有機溶剤混合物				
	主な用途： 省エネシールド#1Sの希釈剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
-----					
-----					
-----					
合計			100		
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体 (消防法、危険物第四類第二石油類、非水溶性)				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。吸入すると頭痛、めまいを起こす。 ☆溶剤の蒸気は、目、鼻、喉、皮膚などを刺戟し、炎症を起こすことがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないように注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。				

	使用可能な 消火剤	水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕 その他〔 〕
火災時の処置	<u>消火方法</u> ☆水を消火に用いてはならない。 ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。	
漏出時の処置	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。	
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、設置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。 ☆工具は火花防止型のものを用いる。 ☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ☆使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に着けておく。	
	<u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気、熱源から遠ざけて保管する。	
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆取り扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、くみ取り、攪拌等の設置についてはアースを取るようにする。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設置すること。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。 ☆状況に応じて、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護耐油性手袋、長袖帯電防止用保護衣、帯電防止靴着用のこと。	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 無色透明                              臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 151~196℃                      蒸気密度 : 3~4 密 度 : 0.82                              P H 値 : - その他 : -				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 42.2℃                      発 火 点 : 240℃ 爆発限界 : (下限) 0.6%                      (上限) 7.5%			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 通常の取扱い条件において安定である。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO, CO <sub>2</sub> , ガス、ススなど			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 溶剤の蒸気は空気より重く低所に滞留し、爆発性混合ガスを作りやすい。					
有 害 性 情 報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	.....				
	.....				
	.....				
	.....				
	.....				
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 溶剤 LAWS 高沸点脂肪族炭化水素 CAS No. 64742-81-1 ソルベツ100 高沸点芳香族炭化水素 CAS No. 64742-95-6					
<u>製品に関する有害情報</u> 溶剤 LAWS 許容濃度未設定 ソルベツ100					
環境影響情報	☆漏洩時、排気などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。  ☆排水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。  陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理する。  海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  航空輸送 : 航空法の定めに従う。</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤）  消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ  船舶安全法 : 中引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u>  ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」  「MSDSガイドブック」  ☆溶剤ポケットブック  ☆危険物防災救急便覧  ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意]  危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。  記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	

# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 7 1 0 8

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2000.7.5	
製品の特定	製品名: Sプライマー A液				
	<u>製品説明</u>				
	種類: エポキシ樹脂塗料 (溶剤型)				
	主な用途: 防錆用 下塗				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
	エポキシ樹脂	—	21.5		
キシレン	1330-20-7	24.7	表示: 20~30%		
イソブチルアルコール	78-83-1	3.0			
有害性の分類	分類の名称: 引火性液体、急性毒性物質、その他の有害物質				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆非常に燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないよう注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないよう注意する。				

	使用可能な 消火剤	水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔 〕 その他〔 〕
火災時の処置	<u>消火方法</u> ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。 ☆水を消火に用いないこと。	
漏出時の処置	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消化器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。	
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策の為、装置等は接地し、電気器具類は防爆型を使用する。 ☆工具、器具類は火花防止型の物を用いる。 ☆使用済みウエス・塗料カス等は廃棄するまで水に漬けておく。 ☆皮膚、粘膜、着衣に付いたり、目に入らぬよう、適当な保護具を着ける。 ☆密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。 ☆蒸気、ミストを吸収しないよう、また、皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。 ☆容器は転倒、転落しないように注意して取り扱う。	
	<u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気・熱源から遠ざけて保管する。 ☆幼児の手の届かないところに保管する。	
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆取扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置はアースを取るよう設備する。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設備する。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部の密閉場所で作業をする場合は、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。	
	<u>保護具</u> ☆目の障害防止 : 保護眼鏡を着用する。 ☆皮膚障害防止 : 有機溶剤、化学薬品が浸透しない材質の手袋等を使用する ☆吸入妨害防止 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では、送気マスクを着用する。	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 淡黄色                              臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 138~144℃ (参考値)              蒸気圧 : 1333Pa (参考値) 密 度 : 1.1~1.2/25℃                      PH値 : 該当しない その他 : 特になし				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 28℃                              発 火 点 : 529℃(参考値) 爆発限界 : (下限) 1.1%                      (上限) 7% (参考値)			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> アミン類、アマイド類、酸類			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO、その他低分子モノマーなど			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 硬化剤と主剤を一度の多量に接触させると急激な発熱反応を起こす。					
有 害 性 情 報	<u>組成物質の有害性及び暴露濃度基準</u>				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	キシレン	100ppm	100ppm	—	LD <sub>50</sub> = 5,000mg/kg
	イソブチルアルコール	50ppm	50ppm	—	LD <sub>50</sub> = 2,980mg/kg
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 前記記述以外に特に知見なし。					
<u>製品に関する有害情報</u> 製品としての安全性試験は、行っていない。 塗膜を研磨する場合は、粉塵を吸い込まないように注意する。					
環境影響情報	☆漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。</p> <p>☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。</p> <p>☆廃水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p> <p>☆廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。</p> <p>陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理をする。</p> <p>海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。</p> <p>航空輸送 : 航空法の定めに従う。</p> <p>国連番号 : 1 2 6 3</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>☆労働安全衛生法：危険物（引火性の物）、有機則（第2種有機溶剤）</p> <p>☆消防法 : 第4類第2石油類</p> <p>☆船舶安全法 : 高引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u></p> <p>☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」 「MSDSガイドブック」</p> <p>☆溶剤ポケットブック 溶剤ハンドブック</p> <p>☆危険物防災救急便覧</p> <p>☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>〔注 意〕</p> <p>危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。</p> <p>尚、記載の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、法令の改正や新しい知見により改訂される事があります。</p> <p>注意事項は、通常取り扱いを対象としたものです。特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上で、ご利用下さい。</p> <p>記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	



# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T-0-7107

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2000.7.5	
製品の特定	製品名: Sプライマー B液				
	<u>製品説明</u>				
	種類: エポキシ樹脂塗料硬化剤 (溶剤型)				
	主な用途: 防錆用 下塗				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
	変性脂肪族ポリアミン	—	50		
	キシレン	1330-20-7	21	表示: 20~30%	
	トルエン	108-88-3	15	表示: 10~20%	
	イソブチルアルコール	78-83-1	8	表示: 5~10%	
イソプロピルアルコール	67-63-0	6	表示: 5~10%		
合計		100			
有害性の分類	分類の名称: 引火性液体、急性毒性物質、その他の有害物質				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆非常に燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。 ☆皮脂刺激性の恐れがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないよう注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないよう注意する。				

	使用可能な 消火剤	水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔 〕 その他〔 〕
火災時の処置	<u>消火方法</u> ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。 ☆水を消火に用いないこと。	
漏出時の処置	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消化器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。	
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策の為、装置等は接地し、電気器具類は防爆型を使用する。 ☆工具、器具類は火花防止型の物を用いる。 ☆使用済みウエス・塗料カス等は廃棄するまで水に漬けておく。 ☆皮膚、粘膜、着衣に付いたり、目に入らぬよう、適当な保護具を着ける。	
	<u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気・熱源から遠ざけて保管する。	
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆取扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置はアースを取るよう設備する。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設備する ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部の密閉場所で作業をする場合は、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。	
	<u>保護具</u> ☆目の障害防止 : 保護眼鏡を着用する。 ☆皮膚障害防止 : 有機溶剤、化学薬品が浸透しない材質の手袋等を使用する ☆吸入妨害防止 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では、送気マスクを着用する。	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]      粉末状 [ ] 色 : 淡黄色              臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 82~144℃      蒸気圧 : 4893Pa (参考値) 密 度 : 0.925          PH値 : 情報を有していない その他 : 特になし				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 4℃              発 火 点 : 430℃ (参考値) 爆発限界 : 十分な情報を有していない			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 酸類、酸化物			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO、NO <sub>x</sub> 、低分子モノマー等			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 硬化剤と主剤を一度に多量に接触させると急激な発熱反応を起こす。					
有 害 性 情 報	<u>組成物質の有害性及び暴露濃度基準</u>				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	変性脂肪族ポリアミン	—	—	—	皮膚刺激性
	キシレン	100ppm	100ppm	—	LD <sub>50</sub> = 5,000mg/kg
	トルエン	100ppm	100ppm	—	LD <sub>50</sub> = 5,000mg/kg
	イソブチルアルコール	50ppm	50ppm	—	LD <sub>50</sub> = 2,450mg/kg
	イソプロピルアルコール	400ppm	400ppm	—	LD <sub>50</sub> = 5,045mg/kg
	LD50は、経口値です。				
	<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> ポリアミンは長時間あるいは繰り返し暴露により、皮膚炎または喘息様の症状を起こすことがある。				
	<u>製品に関する有害情報</u> 製品としての安全性試験は、行っていない。				
環境影響情報	☆漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。</p> <p>☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。</p> <p>☆廃水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p> <p>☆廃塗料などを焼却処理する場合は珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。</p> <p>陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理をする。</p> <p>海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。</p> <p>航空輸送 : 航空法の定めに従う。</p> <p>国連番号 : 1 2 6 3</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>☆労働安全衛生法：危険物（引火性の物）、有機則（第2種有機溶剤）</p> <p>☆消防法 : 第4類第1石油類（非水溶性） 危険等級Ⅱ</p> <p>☆船舶安全法 : 中引火点引火性液体</p> <p>☆労働基準局長通達：基発第477号 エポキシ硬化剤主成分表示</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u></p> <p>☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」 「MSDSガイドブック」</p> <p>☆溶剤ポケットブック 溶剤ハンドブック</p> <p>☆危険物防災救急便覧</p> <p>☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>〔注 意〕</p> <p>危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。</p> <p>尚、記載の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、法令の改正や新しい知見により改訂される事があります。</p> <p>注意事項は、通常の手取り扱いを対象としたものです。特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上で、ご利用下さい。</p> <p>記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	

# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 7 1 0 9

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2000.7.5	
製品の特定	製品名: Sプライマーシンナー				
	<u>製品説明</u>				
	種類: エポキシ樹脂塗料希釈剤				
	主な用途: 防錆用 下塗				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
	キシレン	1330-20-7	80	表示: 70~80%	
イソブチルアルコール	78-83-1	20	表示: 20~30%		
	合計		100		
有害性の分類	分類の名称: 引火性液体、急性毒性物質、その他の有害物質				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆非常に燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。 ☆皮脂刺激性の恐れがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないよう注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないよう注意する。				

	使用可能な 消火剤	水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔 〕 その他〔 〕
火災時の処置	<u>消火方法</u> ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。 ☆水を消火に用いないこと。	
漏出時の処置	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。 ☆密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。 ☆容器は転倒、転落しないように注意して取り扱う。	
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策の為、装置等は接地し、電気器具類は防爆型を使用する。 ☆工具、器具類は火花防止型の物を用いる。 ☆使用済みウエス・塗料カス等は廃棄するまで水に漬けておく。 ☆皮膚、粘膜、着衣に付いたり、目に入らぬよう、適当な保護具を着ける。 ☆密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。 ☆容器は、転倒、転落しないように注意して取り扱う。	
	<u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気・熱源から遠ざけて保管する。 ☆幼児の手の届かないところに保管する。	
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆取扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置はアースを取るよう設備する。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設備する。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部の密閉場所で作業をする場合は、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。	
	<u>保護具</u> ☆目の障害防止 : 保護眼鏡を着用する。 ☆皮膚障害防止 : 有機溶剤、化学薬品が浸透しない材質の手袋等を使用する ☆吸入妨害防止 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では、送気マスクを着用する。	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 無色透明                              臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 108~144℃ (参考値)              蒸気圧 : 1333Pa (参考値) 密 度 : 0.858                                  PH値 : 該当しない その他 : 特になし				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 28℃                                  発 火 点 : 430℃ 爆発限界 : 十分な情報を有していない			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 酸化剤との接触で有機物が酸化され、燃焼する恐れがある。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> COなど			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 特に情報を有していない					
有 害 性 情 報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	キシレン	100ppm	100ppm	—	LD <sub>50</sub> = 5,000mg/kg
	イソブタノール	50ppm	50ppm	—	LD <sub>50</sub> = 2,460mg/kg
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 前記記述以外に特に知見なし。					
<u>製品に関する有害情報</u> 製品としての安全性試験は、行っていない。					
環境影響情報	☆漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。  ☆廃水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。  陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理をする。  海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  航空輸送 : 航空法の定めに従う。  国連番号 : 1 2 6 3</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>☆労働安全衛生法：危険物（引火性の物）、有機則（第2種有機溶剤）  ☆消防法 : 第4類第2石油類  ☆船舶安全法 : 高引火点引火性液体  国連番号：1 2 6 3</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u>  ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」  「MSDSガイドブック」  ☆溶剤ポケットブック 溶剤ハンドブック  ☆危険物防災救急便覧  ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意]  危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。  尚、記載の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、法令の改正や新しい知見により改訂される事があります。  注意事項は、通常取り扱いを対象としたものです。特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上で、ご利用下さい。  記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	



# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 7 1 1 0

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2000.7.5	
製品の特定	製品名： 省エネシールド#2F 白色				
	<u>製品説明</u>				
	種類： フッ素樹脂系塗料 (水性)				
	主な用途： 建築用遮熱塗料				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
有害性成分規定量含有せず			その他の成分別添		
-----			-----		
-----			-----		
合計			100		
有害性の分類	分類の名称： 該当せず				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆特に危険有害性の情報を有していない。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないように注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。				

<p>火災時の処置</p>	<p>使用可能な 消火剤</p> <p>水 [○] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 [ ] その他 [ ]</p>
<p>漏出時の処置</p>	<p><u>消火方法</u></p> <p>☆この物自体に可燃性なし。 ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。</p> <p>☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。 ☆水での洗浄等も、河川等へ流出、環境汚染を引き起こす恐れあり、注意する。</p>
<p>取扱、保管上の注意</p>	<p><u>取り扱い上の注意</u></p> <p>☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。</p> <p><u>保管上の注意</u></p> <p>☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。</p>
<p>暴露防止処置</p>	<p><u>設備対策</u></p> <p>☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。</p> <p><u>保護具</u></p> <p><u>目保護具</u></p> <p>☆保護メガネを着用する。</p> <p><u>皮膚保護具</u></p> <p>☆有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。</p> <p><u>呼吸保護具</u></p> <p>☆必要に応じて、蒸気、ミスト等の吸入を防ぐ保護マスクを着用する。</p>

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [×] 固体 : 固形状 [×]                      粉末状 [×] 色 : 白色                                      臭気 : わずかなアンモニア臭			
	沸 点 : 情報を有していない              蒸気密度 : 情報を有していない 密 度 : 1.0~1.10/25℃                      P H 値 : 8-9 その他 : 水に可溶性である				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : なし                                      発 火 点 : 情報を有していない 爆発限界 : 情報を有していない			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 特に情報を有していない。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> 引火点がなく水性塗料その物は燃えないが、塗膜が燃えた場合、 CO、低分子モノマー、フッ化水素ガス及びフッ素系ガス等。			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 特に情報を有していない					
有 害 性 情 報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	該当するものなし				
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 前記記述以外に特に知見なし					
<u>製品に関する有害情報</u> 製品としての安全性試験は行っていない 塗膜を研磨する場合は、粉塵を吸い込まないように注意する。					
環境影響情報	☆漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。</p> <p>☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。 硫酸バンドで沈澱させること。</p> <p>☆排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p> <p>☆廃棄物等を焼却処理する場合には、有毒ガスが発生するため、洗浄装置の無い焼却炉は使用しないこと。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。</p> <p>陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従う。</p> <p>海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。</p> <p>航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。</p> <p>国連番号 : なし</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>☆法規に該当しない。</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u></p> <p>☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」 「MSDSガイドブック」</p> <p>☆溶剤ポケットブック</p> <p>☆危険物防災救急便覧</p> <p>☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意]</p> <p>危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。</p> <p>記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	

# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 5 0 9 1

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2000. 5. 9	
製品の特定	製品名： Fプライマー A液				
	<u>製品説明</u>				
	種類： アクリル樹脂塗料 主な用途： 遮熱塗料下塗主剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
	合計		100		
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体 (消防法、危険物第四類第二石油類、非水溶性)				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。吸入すると頭痛、めまいを起こす。 ☆溶剤の蒸気は、目、鼻、喉、皮膚などを刺戟し、炎症を起こすことがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないように注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。				

	使用可能な 消火剤	水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕 その他〔 〕
火災時の処置	<u>消火方法</u> ☆水を消火に用いてはならない。 ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。	
漏出時の処置	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。	
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、設置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。 ☆工具は火花防止型のものを用いる。 ☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ☆使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に着けておく。	
	<u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気、熱源から遠ざけて保管する。	
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆取り扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、くみ取り、攪拌等の設置についてはアースを取るようにする。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設置すること。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。 ☆状況に応じて、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護耐油性手袋、長袖帯電防止用保護衣、帯電防止靴着用のこと。	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 白色                                      臭気 : 溶剤臭・アクリル樹脂臭			
	沸 点 : 151~196℃                      蒸気密度 : 3~4 密 度 : 1.00                              P H 値 : - その他 : -				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 42.2℃                      発 火 点 : 240℃ 爆発限界 : (下限) 0.6%                      (上限) 7.5%			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 通常の取扱い条件において安定である。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO, CO <sub>2</sub> , ガス、ススなど			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 溶剤の蒸気は空気より重く低所に滞留し、爆発性混合ガスを作りやすい。					
有 害 性 情 報	<u>組成物質の有害性及び暴露濃度基準</u>				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	.....				
	.....				
	.....				
	.....				
	.....				
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u>					
溶剤 LAWS 高沸点脂肪族炭化水素 CAS No. 64742-81-1 ソルベツ100 高沸点芳香族炭化水素 CAS No. 64742-95-6					
<u>製品に関する有害情報</u>					
溶剤 LAWS 許容濃度未設定 ソルベツ100					
環境影響情報	☆漏洩時、排気などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。  ☆排水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。  陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理する。  海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  航空輸送 : 航空法の定めに従う。  国連番号 : 1866</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤）  消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ  船舶安全法 : 中引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u>  ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」  「MSDSガイドブック」  ☆溶剤ポケットブック  ☆危険物防災救急便覧  ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意]  危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。  記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	



# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 5 0 9 2

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2000. 5. 9	
製品の特定	製品名: Fプライマー B液				
	<u>製品説明</u>				
	種類: ポリイソシアネートポリマー溶液				
	主な用途: Fプライマーの硬化剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
-----	-----	-----	-----		
-----	-----	-----	-----		
-----	-----	-----	-----		
合計		100			
有害性の分類	分類の名称: 引火性液体 (消防法、危険物第四類第二石油類、非水溶性)				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。吸入すると頭痛、めまいを起こす。 ☆溶剤の蒸気は、目、鼻、喉、皮膚などを刺戟し、炎症を起こすことがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないように注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。				

<p>火災時の処置</p>	<p>使用可能な 消火剤</p> <p>水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕 その他〔 〕</p>
<p>漏出時の処置</p>	<p><u>消火方法</u></p> <p>☆水を消火に用いてはならない。 ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。</p> <p>☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。</p>
<p>取扱、保管上の注意</p>	<p><u>取り扱い上の注意</u></p> <p>☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、設置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。 ☆工具は火花防止型のものを用いる。 ☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ☆使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に着けておく。</p> <p><u>保管上の注意</u></p> <p>☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気、熱源から遠ざけて保管する。</p>
<p>暴露防止処置</p>	<p><u>設備対策</u></p> <p>☆取り扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、くみ取り、攪拌等の設置についてはアースを取るようにする。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設置すること。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。 ☆状況に応じて、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護耐油性手袋、長袖帯電防止用保護衣、帯電防止靴着用のこと。</p>

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 淡黄色                              臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 151~196℃                      蒸気密度 : 3~4 密 度 : 0.98                              P H 値 : - その他 : -				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 42.2℃                      発 火 点 : 240℃ 爆発限界 : (下限) 0.6%                      (上限) 7.5%			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 通常の取扱い条件において安定である。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO, CO <sub>2</sub> , NO, NO <sub>2</sub> ガス、ススなど			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 溶剤の蒸気は空気より重く低所に滞留し、爆発性混合ガスを作りやすい。					
有 害 性 情 報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	.....				
	.....				
	.....				
	.....				
	.....				
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 溶剤 LAWS 高沸点脂肪族炭化水素 CAS No. 64742-81-1 ソルベックス100 高沸点芳香族炭化水素 CAS No. 64742-95-6					
<u>製品に関する有害情報</u> 溶剤 LAWS 許容濃度未設定 ソルベックス100					
環境影響情報	☆漏洩時、排気などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。  ☆排水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。  陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理する。  海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  航空輸送 : 航空法の定めに従う。</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤）  消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ  船舶安全法 : 中引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u>  ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」  「MSDSガイドブック」  ☆溶剤ポケットブック  ☆危険物防災救急便覧  ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意]  危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。  記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	

# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T O - 5 0 9 3

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2000. 5. 9	
製品の特定	製品名： Fプライマー シンナー				
	<u>製品説明</u>				
	種類： 有機溶剤混合物				
	主な用途： Fプライマーの希釈剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
-----	-----	-----	-----		
-----	-----	-----	-----		
-----	-----	-----	-----		
合計		100			
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体 (消防法、危険物第四類第二石油類、非水溶性)				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆燃えやすい液体である。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。吸入すると頭痛、めまいを起こす。 ☆溶剤の蒸気は、目、鼻、喉、皮膚などを刺戟し、炎症を起こすことがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないように注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。				

<p>火災時の処置</p>	<p>使用可能な 消火剤</p> <p>水〔 〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕 その他〔 〕</p>
<p>漏出時の処置</p>	<p><u>消火方法</u></p> <p>☆水を消火に用いてはならない。 ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。</p> <p>☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。</p>
<p>取扱、保管上の注意</p>	<p><u>取り扱い上の注意</u></p> <p>☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、設置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。 ☆工具は火花防止型のものを用いる。 ☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ☆使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に着けておく。</p> <p><u>保管上の注意</u></p> <p>☆通風の良いところに保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気、熱源から遠ざけて保管する。</p>
<p>暴露防止処置</p>	<p><u>設備対策</u></p> <p>☆取り扱い設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆液体の輸送、くみ取り、攪拌等の設置についてはアースを取るようにする。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設置すること。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。 ☆状況に応じて、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護耐油性手袋、長袖帯電防止用保護衣、帯電防止靴着用のこと。</p>

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 無色透明                              臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 151~196℃                      蒸気密度 : 3~4 密 度 : 0.82                              P H 値 : - その他 : -				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 42.2℃                      発 火 点 : 240℃ 爆発限界 : (下限) 0.6%                      (上限) 7.5%			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 通常の取扱い条件において安定である。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO, CO <sub>2</sub> , ガス、ススなど			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 溶剤の蒸気は空気より重く低所に滞留し、爆発性混合ガスを作りやすい。					
有 害 性 情 報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	-----				
	-----				
	-----				
	-----				
	-----				
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 溶剤 LAWS 高沸点脂肪族炭化水素 CAS No. 64742-81-1 ソルベツ100 高沸点芳香族炭化水素 CAS No. 64742-95-6					
<u>製品に関する有害情報</u> 溶剤 LAWS 許容濃度未設定 ソルベツ100					
環境影響情報	☆漏洩時、排気などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。  ☆排水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。  陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理する。  海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  航空輸送 : 航空法の定めに従う。</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤）  消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ  船舶安全法 : 中引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u>  ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」  「MSDSガイドブック」  ☆溶剤ポケットブック  ☆危険物防災救急便覧  ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意]  危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。  記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	



# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T1-2036

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2004.3.4	
製品の特定	製品名： 浸透性プライマー A液				
	<u>製品説明</u>				
	種類： エポキシ樹脂プライマー (主剤)				
	主な用途： 建築外装用プライマー				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
	エポキシ樹脂	—	60~70%	非該当	
トルエン	108-88-3	35%	PRTR法1物質		
イソプロピルアルコール	67-63-0	5~10%			
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体、急性毒性物質、その他の有害物質				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。急性又は慢性中毒の恐れがある。 ☆アレルギー症状、皮膚障害の恐れのある物質を含有している。				
応急処置	<u>目に入った場合</u>				
	☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u>				
	☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
<u>吸入した場合</u>					
☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 ☆吐瀉物は飲み込ませないよう注意し、ただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。					
<u>飲み込んだ場合</u>					
☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないよう注意する。					

	使用可能な 消火剤	水 [×] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 [○] その他 [ ]
火災時の処置	<u>消火方法</u> ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。 ☆水を消火に用いないこと。 ☆消火器は指定の物を使用する事。	
漏出時の処置	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、粉末又は泡消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。 ☆河川等へ排出され、環境への悪影響を起こさないよう注意する。 ☆火花が発生しないプラスチック製シャベル等を使用する。	
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策の為、装置等は接地し、電気器具類は防爆型を使用する。 ☆工具、器具類は火花防止型の物を用いる。帯電防止型の靴を使用する。 ☆使用済みのウエスや塗料カス等は、廃棄するまで水に漬けておく。 ☆アレルギー症状経験者は取り扱わないこと。 ☆蒸気、ミストを吸収しないよう、また、皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬように適切な保護具を着用する。 ☆取扱後は、手、顔などをよく洗い、休憩所等に汚染物質を持ち込まない様、配慮する。 ☆密閉された場所での作業には、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を付けて作業する。  <u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆なるべく冷暗所に保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気・熱源から遠ざけて保管する。 ☆水廻りや湿度の高い所に置くと、缶が錆びて内容物の漏出または、噴出の恐れがある。	
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆特に、タンク内部等密閉された場所での塗装作業においては、局所排気装置を使用しなければ取り扱ってはならない。 ☆高所における塗装作業においては、有機溶剤中毒に伴う転落に注意すること。 ☆塗装設備は防爆型の設備を使用する。 ☆塗装設備はアースを取り、散水等により塗装場周辺の静電気発生を防ぐこと。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるような物を置かないように、設備面で配慮する。	

	<p><u>保護具</u></p> <p>☆目の障害防止 : 保護眼鏡を着用する。</p> <p>☆皮膚障害防止 : 有機溶剤、化学薬品が浸透しない材質の手袋等を使用する</p> <p>☆吸入妨害防止 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。</p> <p style="padding-left: 40px;">密閉された場所では、送気マスクを着用する。</p>
--	--

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 淡黄色                              臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 82.4~110.6℃    蒸気圧 : 4893Pa (30℃) 密 度 :                              PH値 : 該当しない その他 : 特になし				
危険性情報	製品特性	引火点 : 4℃                              発火点 : 495℃(参考値) 爆発限界 : (下限) 1.27                      (上限) 12.0 (VOL%)			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 知見なし			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO、NOx、分解性モノマー			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 特になし。					
有害性情報	<u>組成物質の有害性及び暴露濃度基準</u>				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	トルエン	50ppm	50ppm	3	LD <sub>50</sub> = 636mg/kg
	イソプロピルアルコール	400ppm	200ppm	3	LD <sub>50</sub> = 5045mg/kg
	-----	-----	-----	-----	-----
	-----	-----	-----	-----	-----
	-----	-----	-----	-----	-----
	-----	-----	-----	-----	-----
	LD50は、経口値です。				
	<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 皮膚粘膜等に対する刺激性、感作性有り。				
<u>製品に関する有害情報</u> 製品としての安全性試験は、行っていない。					
環境影響情報	<p>☆有機溶剤が含まれるので、漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。</p> <p>☆製品や洗浄液、地面・川・排水溝に直接流れないように注意すること。</p>				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。</p> <p>☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。</p> <p>☆廃水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p> <p>☆塗料製品、廃塗料、焼却灰などは、特別管理産業廃棄物に該当する場合がありますので、廃棄の際は法規に準ずる事</p> <p>☆廃塗料などを焼却処理する場合は、珪藻土等に吸収させ、法規に従った焼却炉で少量ずつ処理する。</p> <p>☆廃棄物等を焼却処理する場合は、有害ガスを発生するため、適切な除去装置のある焼却炉を使用する。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。</p> <p>陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理をする。</p> <p>海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。</p> <p>航空輸送 : 航空法の定めに従う。</p> <p>国連番号 : 1263</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物(引火性の物)、有機則(第2種有機溶剤)</p> <p>消防法 : 危険物第4類第1石油類(非水溶性液体)危険物等級II</p> <p>船舶安全法 : 中引火点引火性液体 IMDGコード クラス3.2</p>
<p>その他</p>	<p>主な引用文献</p> <p>☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」「MSDSガイドブック」</p> <p>☆溶剤ポケットブック 溶剤ハンドブック</p> <p>☆化学工業日報社 「10889の化学商品」</p> <p>☆海外技術資料研究所 「危険物・毒物 取扱マニュアル」</p> <p>☆危険物防災救急便覧</p> <p>☆国際化学物質安全カード(ICSC)</p>
<p>[注意]</p> <p>危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。</p> <p>尚、記載の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、法令の改正や新しい知見により改訂される事があります。</p> <p>注意事項は、通常取り扱いを対象としたものです。特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上で、ご利用下さい。</p> <p>記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	

# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T1-2037

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2004.3.4	
製品の特定	製品名： 浸透性プライマー B液				
	<u>製品説明</u>				
	種類： エポキシ樹脂プライマー (硬化剤)				
	主な用途： 建築外装用プライマー				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
	変性脂肪族ポリアミドアミン	—	20~30%	非該当	
トルエン	108-88-3	65%	PRTR法1物質		
イソプロピルアルコール	67-63-0	10~20%			
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体、急性毒性物質、その他の有害物質				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。急性又は慢性中毒の恐れがある。 ☆アレルギー症状、皮膚障害の恐れのある物質を含有している。				
応急処置	<u>目に入った場合</u>				
	☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u>				
	☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
<u>吸入した場合</u>					
☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 ☆吐瀉物は飲み込ませないように注意し、ただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。					
<u>飲み込んだ場合</u>					
☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。					

	使用可能な 消火剤	水 [×] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 [○] その他 [ ]
火災時の処置	<u>消火方法</u> ☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。 ☆水を消火に用いないこと。 ☆消火器は指定の物を使用する事。	
漏出時の処置	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、粉末又は泡消火器を準備する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。 ☆河川等へ排出され、環境への悪影響を起こさないよう注意する。 ☆火花が発生しないプラスチック製シャベル等を使用する。	
取扱、保管上の注意	<u>取り扱い上の注意</u> ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密栓する。 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策の為、装置等は接地し、電気器具類は防爆型を使用する。 ☆工具、器具類は火花防止型の物を用いる。帯電防止型の靴を使用する。 ☆使用済みのウエスや塗料カス等は、廃棄するまで水に漬けておく。 ☆アレルギー症状経験者は取り扱わないこと。 ☆蒸気、ミストを吸収しないよう、また、皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬように適切な保護具を着用する。 ☆取扱後は、手、顔などをよく洗い、休憩所等に汚染物質を持ち込まない様、配慮する。 ☆密閉された場所での作業には、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を付けて作業する。 <u>保管上の注意</u> ☆通風の良いところに保管する。 ☆なるべく冷暗所に保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆火気・熱源から遠ざけて保管する。 ☆水廻りや湿度の高い所に置くと、缶が錆びて内容物の漏出または、噴出の恐れがある。	
暴露防止処置	<u>設備対策</u> ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。 ☆特に、タンク内部等密閉された場所での塗装作業においては、局所排気装置を使用しなければ取り扱ってはならない。 ☆高所における塗装作業においては、有機溶剤中毒に伴う転落に注意すること。 ☆塗装設備は防爆型の設備を使用する。 ☆塗装設備はアースを取り、散水等により塗装場周辺の静電気発生を防ぐこと。 ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるような物を置かないように、設備面で配慮する。	

保護具

- ☆目の障害防止 : 保護眼鏡を着用する。
- ☆皮膚障害防止 : 有機溶剤、化学薬品が浸透しない材質の手袋等を使用する
- ☆吸入妨害防止 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。  
密閉された場所では、送気マスクを着用する。

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 淡黄色                                  臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 82.4~110.6℃      蒸気圧 : 4893Pa (30℃) 密 度 :                                  PH値 : 該当しない その他 : 特になし				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 4℃                                  発 火 点 : 495℃(参考値) 爆発限界 : (下限) 1.27                      (上限) 12.0 (VOL%)			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 知見なし			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> CO、NO <sub>x</sub> 、分解性モノマー			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 特になし。					
有 害 性 情 報	<u>組成物質の有害性及び暴露濃度基準</u>				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	トルエン	50ppm	50ppm	3	LD <sub>50</sub> = 636mg/kg
	イソプロピルアルコール	400ppm	200ppm	3	LD <sub>50</sub> = 5045mg/kg
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 皮膚粘膜等に対する刺激性、感作性有り。					
<u>製品に関する有害情報</u> 製品としての安全性試験は、行っていない。					
環境影響情報	☆有機溶剤が含まれるので、漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。 ☆製品や洗浄液、地面・川・排水溝に直接流れないように注意すること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。</p> <p>☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。</p> <p>☆廃水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p> <p>☆塗料製品、廃塗料、焼却灰などは、特別管理産業廃棄物に該当する場合がありますので、廃棄の際は法規に準ずる事</p> <p>☆廃塗料などを焼却処理する場合は、珪藻土等に吸収させ、法規に従った焼却炉で少量ずつ処理する。</p> <p>☆廃棄物等を焼却処理する場合は、有害ガスを発生するため、適切な除去装置のある焼却炉を使用する。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。</p> <p>陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理をする。</p> <p>海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。</p> <p>航空輸送 : 航空法の定めに従う。</p> <p>国連番号 : 1263</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物(引火性の物)、有機則(第2種有機溶剤)</p> <p>消防法 : 危険物第4類第1石油類(非水溶性液体)危険物等級II</p> <p>船舶安全法 : 中引火点引火性液体 IMDGコード クラス3.2</p>
<p>その他</p>	<p>主な引用文献</p> <p>☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」「MSDSガイドブック」</p> <p>☆溶剤ポケットブック 溶剤ハンドブック</p> <p>☆化学工業日報社 「10889の化学商品」</p> <p>☆海外技術資料研究所 「危険物・毒物 取扱マニュアル」</p> <p>☆危険物防災救急便覧</p> <p>☆国際化学物質安全カード(ICSC)</p>
<p>[注意]</p> <p>危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。</p> <p>尚、記載の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、法令の改正や新しい知見により改訂される事があります。</p> <p>注意事項は、通常取り扱いを対象としたものです。特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上で、ご利用下さい。</p> <p>記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	



# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T1-3091

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2000.4.6	
製品の特定	製品名： 塩ビプライマー A液				
	<u>製品説明</u>				
	種類： アクリル樹脂塗料 (溶剤型)				
	主な用途： ポリ塩化ビニル鋼板用 下塗り塗料 主剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
	酸化チタン	13463-67-7	17.0		
	メチルイソブチルケトン	108-10-1	13.0		
デイスンブチルケトン	108-83-8	13.3			
キシレン	1330-27-7	4.2	P R T R 法 1 種物質		
n. ブチルアルコール	71-36-3	2.6			
エチルベンゼン	100-41-4	1.8	P R T R 法 1 種物質		
合 計					
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体、急性毒性物質				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。急性又は慢性中毒の恐れがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないよう注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないよう注意する。				

火災時の処置	使用可能な 消火剤	水〔×〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕 その他〔 〕
漏出時の処置	<p><u>消火方法</u></p> <p>☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。  ☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。  ☆水を消火に用いないこと。</p> <p>☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。  ☆流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。  ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基いて処置する。  ☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。  ☆着火した場合に備えて、適切な消化器を準備する。  ☆乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は、盛土で囲って広がらぬように処置する。  ☆河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。</p>	
取扱、保管上の注意	<p><u>取り扱い上の注意</u></p> <p>☆換気の良い場所で取り扱う。  ☆容器はその都度密栓する。  ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。  ☆静電気対策の為、装置等は接地し、電気器具類は防爆型を使用する。  ☆工具、器具類は火花防止型の物を用いる。  ☆使用済みウエス・塗料カス等は廃棄するまで水に漬けておく。  ☆皮膚、粘膜、着衣に付いたり、目に入らぬよう、適当な保護具を着ける。  ☆密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。  ☆蒸気、ミストを吸収しないよう、また、皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬように適切な保護具を着用する。  ☆容器は転倒、転落しないように注意して取り扱う。</p> <p><u>保管上の注意</u></p> <p>☆通風の良いところに保管する。  ☆日光の直射を避ける。  ☆火気・熱源から遠ざけて保管する。  ☆幼児の手の届かないところに保管する。</p>	
暴露防止処置	<p><u>設備対策</u></p> <p>☆取扱い設備は防爆型を使用する。  ☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。  ☆液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置はアースを取るよう設備する。  ☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設備する  ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。  ☆タンク内部の密閉場所で作業をする場合は、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。</p> <p><u>保護具</u></p> <p>☆目の障害防止 : 保護眼鏡を着用する。  ☆皮膚障害防止 : 有機溶剤、化学薬品が浸透しない材質の手袋等を使用する  ☆吸入妨害防止 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。  密閉された場所では、送気マスクを着用する。</p>	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 白色                                      臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 115~168℃ (参考値)              蒸気密度 : 3~4 密 度 : 1.1~1.2/25℃                      PH値 : 該当しない その他 : 特になし				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 24℃                              発 火 点 : 367℃(参考値) 爆発限界 : (下限) 1.1%                      (上限) 11.2% (参考値)			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 過酸化物類			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> NO <sub>x</sub> 、CO、その他分解性モノマー、油煙など			
		<u>その他の反応性情報</u> 普通の条件での反応性はない。			
<u>その他の危険性情報</u> 知見なし。					
有 害 性 情 報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	酸化チタン	データなし	10mg/m <sup>3</sup>	3	
	メチルイソブチルケトン	50ppm	50ppm		LD <sub>50</sub> = 2,980mg/kg
	デカイソブチルケトン	25ppm	25ppm		LD <sub>50</sub> = 5,750mg/kg
	キシレン	100ppm	100ppm	3	LD <sub>50</sub> = 4,300mg/kg
	エチルベンゼン	データなし	100ppm	3	LD <sub>50</sub> = 3,500mg/kg
	n. ブチルアルコール	25ppm	25ppm		LD <sub>50</sub> = 790mg/kg
	LD <sub>50</sub> は、経口値です。				
	<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 前記記述以外に特に知見なし。				
<u>製品に関する有害情報</u> 製品としての安全性試験は、行っていない。 塗膜を研磨する場合は、粉塵を吸い込まないように注意する。					
環境影響情報	☆漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。</p> <p>☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。</p> <p>☆廃水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p> <p>☆廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。</p> <p>陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理をする。</p> <p>海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。</p> <p>航空輸送 : 航空法の定めに従う。</p> <p>国連番号 : 1 2 6 3</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>☆労働安全衛生法：危険物（引火性の物）、有機則（第2種有機溶剤）</p> <p>☆消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性）危険等級Ⅲ</p> <p>☆船舶安全法 : 高引火点引火性液体</p> <p>☆PRTR法 : 該当</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u></p> <p>☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」 「MSDSガイドブック」</p> <p>☆溶剤ポケットブック 溶剤ハンドブック</p> <p>☆危険物防災救急便覧</p> <p>☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>[注 意]</p> <p>危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行ってください。</p> <p>尚、記載の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、法令の改正や新しい知見により改訂される事があります。</p> <p>注意事項は、通常取り扱いを対象としたものです。特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上で、ご利用下さい。</p> <p>記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	

# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T 1 - 3 0 9 2

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2000.4.6	
製品の特定	製品名： 塩ビプライマー B液				
	<u>製品説明</u>				
	種類： 脂肪酸ソルビトールポリグリセリドエポキシ樹脂				
	主な用途： 塩ビプライマーの硬化剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
ダイソブチルケトン	108-83-8	50.0			
-----					
-----					
-----					
合計					
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体、急性毒性物質				
	<u>危険有害性コメント</u>				
<p>☆非常に燃えやすい液体である。</p> <p>☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。吸入すると頭痛、めまいを起こす。</p> <p>☆溶剤の蒸気は、目、鼻、喉、皮膚などを刺戟し、炎症を起こすことがある。</p>					
応急処置	<u>目に入った場合</u>				
	<p>☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。</p> <p>☆医師の診断を受けること。</p>				
	<u>皮膚に付着した場合</u>				
	<p>☆付着物を布ですばやく拭き取る。</p> <p>☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。</p> <p style="padding-left: 20px;">溶剤やシンナーは使用しないこと。</p> <p>☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。</p>				
<u>吸入した場合</u>					
<p>☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。</p> <p>吐瀉物は飲み込ませないように注意しただちに医師の手当を受ける。</p> <p>☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。</p>					
<u>飲み込んだ場合</u>					
<p>☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。</p> <p>☆吐瀉物は、飲み込ませないように注意する。</p>					

火災時の処置	使用可能な 消火剤	水 [×] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 [○] その他 [ ]
漏出時の処置	<p><u>消火方法</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆水を消火に用いてはならない。</li> <li>☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。</li> <li>☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。</li> </ul>	
取扱、保管上の注意	<p><u>取り扱い上の注意</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆換気の良い場所で取り扱う。</li> <li>☆容器はその都度密栓する。</li> <li>☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。</li> <li>☆静電気対策のため、設置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。</li> <li>☆工具は火花防止型のものを用いる。</li> <li>☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。</li> <li>☆使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に着けておく。</li> </ul> <p><u>保管上の注意</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆通風の良いところに保管する。</li> <li>☆日光の直射を避ける。</li> <li>☆火気、熱源から遠ざけて保管する。</li> </ul>	
暴露防止処置	<p><u>設備対策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆取り扱い設備は防爆型を使用する。</li> <li>☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。</li> <li>☆液体の輸送、くみ取り、攪拌等の設置についてはアースを取るようにする。</li> <li>☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設置すること。</li> <li>☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。</li> <li>☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。</li> <li>☆状況に応じて、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護耐油性手袋、長袖帯電防止用保護衣、帯電防止靴着用のこと。</li> </ul>	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 微黄色                              臭気 : 有機溶剤臭			
	沸 点 : 168℃                              蒸気密度 : 3~4 密 度 : 1                                      P H 値 : 該当せず その他 : -				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 49℃                              発 火 点 : -℃ 爆発限界 : (下限) -%                      (上限) -%			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 知見なし			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> NO <sub>x</sub> 、CO、その他分解性モノマー、油煙など			
		<u>その他の反応性情報</u> 知見なし			
<u>その他の危険性情報</u> 溶剤の蒸気は空気より重く低所に滞留し、爆発性混合ガスを作りやすい。					
有 害 性 情 報	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	デイイソブチルケトン	25ppm	25ppm		LD <sub>50</sub> = 5,750mg/kg
LD50は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 上記記述以外に特に知見なし。					
<u>製品に関する有害情報</u> 製品としての安全性試験は、行っていない。					
環境影響情報	☆漏洩時、排気などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。  ☆排水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。  陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理する。  海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  航空輸送 : 航空法の定めに従う。  国連番号 : 1263</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤）  消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ  船舶安全法 : 高引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p>主な引用文献  ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」  「MSDSガイドブック」  ☆溶剤ポケットブック  ☆危険物防災救急便覧  ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>〔注 意〕  危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行って尚、記載の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、法令の改正や新しい知見により改訂される事があります。  注意事項は、通常取り扱いを対象としたものです。特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上で、ご利用下さい。  記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	



# 製品安全データシート

[塗料用 (混合物)]

整理番号 T 1 - 3 0 9 3

製造者情報	会社名	株式会社トータルサービス			
	住所	〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル36F			
	担当部門	開発企画部	担当者		
	電話番号	03-5381-3901	FAX番号	03-3340-5430	
	緊急連絡先	担当部門に同じ		電話番号	担当部門に同じ
	作成者		作成、改訂	2000.5.9	
製品の特定	製品名： 塩ビプライマー シンナー				
	<u>製品説明</u>				
	種類： 有機溶剤 主な用途： 塩ビプライマーの希釈剤				
	成分及び含有量 (危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量%	備考	
	メチルイソブチルケトン	108-10-1	50		
デカイソブチルケトン	108-83-8	50			
合計		100			
有害性の分類	分類の名称： 引火性液体、急性毒性物質				
	<u>危険有害性コメント</u> ☆非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。吸入すると頭痛、めまいを起こす。 ☆溶剤の蒸気は、目、鼻、喉、皮膚などを刺戟し、炎症を起こすことがある。				
応急処置	<u>目に入った場合</u> ☆ただちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗う。 ☆医師の診断を受けること。				
	<u>皮膚に付着した場合</u> ☆付着物を布ですばやく拭き取る。 ☆大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗浄剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤やシンナーは使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。				
	<u>吸入した場合</u> ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合は、人工呼吸を行う。 吐瀉物は飲み込ませないよう注意しただちに医師の手当を受ける。 ☆蒸気、ガス等を吸い込み、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。				
	<u>飲み込んだ場合</u> ☆誤って飲み込んだ場合は、安静にしてただちに医師の診断を受ける。 ☆吐瀉物は、飲み込ませないよう注意する。				

火災時の処置	使用可能な 消火剤	水〔×〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕 その他〔 〕
漏出時の処置	<p><u>消火方法</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆水を消火に用いてはならない。</li> <li>☆適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。</li> <li>☆可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。</li> </ul>	
取扱、保管上の注意	<p><u>取り扱い上の注意</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆換気の良い場所で取り扱う。</li> <li>☆容器はその都度密栓する。</li> <li>☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。</li> <li>☆静電気対策のため、設置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。</li> <li>☆工具は火花防止型のものを用いる。</li> <li>☆皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。</li> <li>☆使用済みのウェス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水に着けておく。</li> </ul> <p><u>保管上の注意</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆通風の良いところに保管する。</li> <li>☆日光の直射を避ける。</li> <li>☆火気、熱源から遠ざけて保管する。</li> </ul>	
暴露防止処置	<p><u>設備対策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆取り扱い設備は防爆型を使用する。</li> <li>☆排気装置等を設けて、蒸気が滞留しないようにする。</li> <li>☆液体の輸送、くみ取り、攪拌等の設置についてはアースを取るようにする。</li> <li>☆取扱場所の近くには、高温体等の発火源となるものを置かないように設置すること。</li> <li>☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装装置等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備をする。</li> <li>☆タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。</li> <li>☆状況に応じて、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護耐油性手袋、長袖帯電防止用保護衣、帯電防止靴着用のこと。</li> </ul>	

製品の 物理的・ 化学的性質	状 態	液体 : 液体 [○]                      ペースト状 [ ] 固体 : 固形状 [ ]                      粉末状 [ ] 色 : 無色透明                              臭気 : 溶剤臭			
	沸 点 : 115~168℃                      蒸気密度 : 3~4 密 度 : 0.803                              P H 値 : - その他 : -				
危 険 性 情 報	製 品 特 性	引 火 点 : 24℃                      発 火 点 : -℃ 爆発限界 : (下限) -%                      (上限) -%			
	反 応 性 安 定 性	<u>接触により危険性のある物質</u> 過酸化物類。			
		<u>燃焼などによる有害ガス発生</u> NO <sub>x</sub> 、CO、その他分解性モノマー、油煙など			
		<u>その他の反応性情報</u> 普通の条件での反応性はない。			
<u>その他の危険性情報</u> 知見なし。					
有 害 性 情 報	<u>組成物質の有害性及び暴露濃度基準</u>				
	物 質 名	管 理 濃 度	ACGIH(TLV)	I R A C	そ の 他 有 害 性
	デイイソブチルケトン	25ppm	25ppm		LD <sub>50</sub> = 5,750mg/kg
	メチルイソブチルケトン	50ppm	50ppm		LD <sub>50</sub> = 2,080mg/kg
LD <sub>50</sub> は、経口値です。					
<u>組成物質に関するその他の有害性情報</u> 上記記述以外に特に知見なし。					
<u>製品に関する有害情報</u> 製品としての安全性試験は、行っていない。					
環境影響情報	☆漏洩時、排気などの際には注意を守ること。				

<p>廃棄上の注意</p>	<p>☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  ☆容器、機械装置等洗浄した排水等は、地面や排水溝へ流さぬこと。  ☆排水処理、消却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規にしたがい処理するか、処理を委託すること。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>共 通 : 取扱い保管上の項の一般的注意に従う。  陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令に従って処理する。  海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  航空輸送 : 航空法の定めに従う。  国連番号 : 1 2 6 3</p>
<p>主な適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 : 危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤）  消防法 : 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ  船舶安全法 : 高引火点引火性液体</p>
<p>そ の 他</p>	<p><u>主な引用文献</u>  ☆日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」  「MSDSガイドブック」  ☆溶剤ポケットブック  ☆危険物防災救急便覧  ☆国際化学物質安全カード（ICSC）</p>
<p>〔注 意〕  危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意の上行って尚、記載の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、法令の改正や新しい知見により改訂される事があります。  注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上で、ご利用下さい。  記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。</p>	